

中央社保協ニュース



いかそう!
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2022年8月8日 22-6号
110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階
電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345
メール k25@shahokyo.jp
HP <https://shahokyo.jp/>



75歳医療費 2倍化の10月実施は中止せよ 怒りの8.4 緊急国会行動、45名が結集

3日間の臨時国会中の8月4日、中央社保協、医団連、年金者組合、高齢期運動連絡会の4団体は緊急国会行動を呼びかけ45名で怒りの声をあげました。政党から、倉林明子参議院議員と山添拓参議院議員(いずれも日本共産党)が集会に駆け付け連帯の挨拶を頂きました。

長引くコロナ禍、年金引下げ、物価高騰が暮らしを直撃 医療費2倍化で高齢者の生活に追い打ちをかけるな

中央社保協の住江代表委員(保団連)が集会に先立ち「所得再分配機能を弱めた政治の下でコロナ、物価高が起きた。その上に医療費負担増など許されない」と力強く挨拶。日本高齢期運動連絡会の吉岡代表委員は「高齢者の17%が無貯金、貯金300万円以下は3分の1、医療費負担をあげる場合じゃない」と訴え、全日本年金者組合の加藤副委員長は「2割化になれば薬を減らすか、受診を減らすか心配の毎日だ」と訴えました。鎌倉代表委員(日本医労連)は「高齢者は1割負担でさえ受診抑制がある。いのちを守るため2割化は撤回を」と語りました。

日本高齢期運動連絡会の畑中事務局長(写真)が、「今こそ医療費2倍化やめろ、その声を全国で巻き起こそう」と行動提起し、集会後19人で衆参の厚生労働委員70人に「高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳医療費2割化の10月実施の中止・延期を」の要請書を提出しました。



全国で「医療費2倍化やめろ」怒りの声を地元国会議員に届けよう